

新社会

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
TEL 03 (6380) 9960 FAX 03 (6380) 9963
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料 1ヵ月164円

新社会千葉

2019年6月 201号

発行：新社会党千葉県本部

千葉市中央区新千葉2-1-1 新千葉ビル 401
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
HP URL:http://sinsya.webcrow.jp/



憲法集会を終えて、デモ行進に入る前、中央でこぶしを上げているのが山城さん。

参院選勝利で改憲阻止を

山城博治さん「沖縄の今」を語る

—活かす会が「憲法集会」開く—

5月25日、千葉市内で、憲法を活かす会・千葉県協議会の主催で「千葉県憲法集会」が開かれました。

主催者を代表して共同世話人の廣瀬理夫さんから「沖縄の弁護士会」で昨年12月に臨時総会を開いて辺野古新基地建設反対の総決闘議を確めたこと、これを受けて千葉県弁護士会でも会長声明を出し、また、全国の弁護士会にも広がっている」と挨拶しました。

新社会党本部の石井俊雄委員長、国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議の宮内渉議長、千葉県1区市民連合市川まり子共同代表からそれぞれ連帯の挨拶を受けました。そのあと山城博治さんの講演に入りまし

た。(講演別掲) 休憩の後の質問の時間には、沖縄県の態度についての質問が出され、そのあと上野運営委員長から、①沖縄闘争を全国的な闘いとし

沖縄に新基地は つくらせない

山城博治さん(講演要旨)

沖縄の県民投票のあと、政府は県民の民意を忖度せず、逆に「待ってました」とばかり埋め立てを進め、「県民の民意なんか少しも気にしていない。県民投票に縛られることはない」と、メッセージを出した。そうすると、県民の心の中に、「どんなに政府に抵抗しても闘えない、しょうがないんだ」という気持ちが生まれる。

それが心配だった。だから「沖縄で5万人、10万人の総決闘集会を開き、断固たる抵抗の火柱を打ち上げて意思表示をするから、中央でも沖縄と呼応するよ

て前進させ、全国各地での集会、沖縄現地の諸活動に参加しよう。②参院選の勝利のため



山城博治さん

であり、千葉の憲法集會もその一環と位置付けて、今日はこちらに参加している。

沖縄の島々を オール基地化？

与那国島にも自衛隊のミサイル基地が出来た。多くの島に基地が作られている。政府の本当の狙いはむしろ与那国、石垣、宮古島に基地をつくらせて、対中

ろ。と提起され、集会宣言を確認しました。 集会后は千葉市内をデモ行進し、多くの市民の皆さんに私たちの怒りを訴えました。

集団自決の 真相はこうだ

私の父は17歳の時に沖縄戦が始まって戦場に駆り出された。父は良く言っていた「日本軍はよ、牛馬は大切に

が、お前たちの命は一銭五厘だ」と言われたという。そんな時代を

生きてきた。だから戦争はやってはいけない

ということを子どもの頃から身に染みて生きてきた。日本軍は特攻

隊が使う「震洋」(しんよう)というモーターボートを、米軍に

見つかからないように隠す穴を住民に作らせた。そして米軍が上陸してくると、その秘密を知っている住民が捕虜になってしゃべると

困るから自決を迫られた。それが慶良間島の集団自決の真相だ。

尖閣列島は昔から平和の島だった。それが今は戦争の象徴のような島になっている。尖閣は沖縄が作ってきた平和のシンボルだった。中国と話し合っ

てお前は議員失格だと言わないのか。空疎！この国の政治は墮ちるところまで墮ちた▼彼

が酔って管を巻いた時、相手になったピザなし交流団の団長は立派だった。「戦争はすべきではない」。この一言でこの国は救われた▼丸山発言はブーチ

ン大統領と話を結んできた安倍外交には痛手だったろう。だが、憲法軽視・戦争志向は安倍政治の御家芸だ。戦争も辞さずのトランプ

大統領の尻馬に乗り、朝鮮相手に息巻いたのは誰か。安倍政治は今や不良の巣窟である。

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

見つかからないように隠す穴を住民に作らせた。そして米軍が上陸してくると、その秘密を知っている住民が捕虜になってしゃべると困るから自決を迫られた。それが慶良間島の集団自決の真相だ。

尖閣列島は 平和の島だ

尖閣列島は昔から平和の島だった。それが今は戦争の象徴のような島になっている。尖閣は沖縄が作ってきた平和のシンボルだった。中国と話し合っ

てお前は議員失格だと言わないのか。空疎！この国の政治は墮ちるところまで墮ちた▼彼

が酔って管を巻いた時、相手になったピザなし交流団の団長は立派だった。「戦争はすべきではない」。この一言でこの国は救われた▼丸山発言はブーチ

ン大統領と話を結んできた安倍外交には痛手だったろう。だが、憲法軽視・戦争志向は安倍政治の御家芸だ。戦争も辞さずのトランプ

大統領の尻馬に乗り、朝鮮相手に息巻いたのは誰か。安倍政治は今や不良の巣窟である。

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

み出す港は県の管理下にある。そのときにいい

あくまで も我流だ。 私の人相学 に、たとえ

ばタケシは「粗暴」、安倍は「陰湿」、トランプは「野卑」とある▼北方四島を取り返すには戦争しかない、と本音を漏らした丸山某衆議員は「不良」。憲法を守るべき国会議員として最低限のモラルは皆無。戦争を戒める倫理観もなければ、およそ歴史に無知▼そんな人物がエリート然としてまかり通る日本の政治。なぜ口を揃えてお前は議員失格だと言わないのか。空疎！この国の政治は墮ちるところまで墮ちた▼彼が酔って管を巻いた時、相手になったピザなし交流団の団長は立派だった。「戦争はすべきではない」。この一言でこの国は救われた▼丸山発言はブーチン大統領と話を結んできた安倍外交には痛手だったろう。だが、憲法軽視・戦争志向は安倍政治の御家芸だ。戦争も辞さずのトランプ大統領の尻馬に乗り、朝鮮相手に息巻いたのは誰か。安倍政治は今や不良の巣窟である。



各政党代表がたたかう決意を述べる

あたりまえの政治とは「憲法を護る」「民意を尊重する」「ウソをつかない」こと。安倍政治はこの真逆のファシズム的兆候を持った暴走政治であり、未来を拓くことができず、手詰まりの安倍政治で、東アジアの平和創設の展望がない。アメリカのメリカいなるの大軍拡計画(中期防衛力整

「働き方改革」は労働生産性向上の「働かせ方改革」であり、労働者の尊厳をまもるものではない。核兵器禁止条約に背を向け、原発ゼロの展望を描けない。安倍改憲4項については、①9条改憲案②緊急事態制度③合区解消④教育の充実であり、特に9条改憲については①9条2項が利かなくなる②自衛隊がフリーハンドの軍隊に

県市民連合が立憲野党と政策協定結ぶ

自公を多数に、立憲野党で3分の2を

予定候補者が決意表明

千葉県市民連合は、来る参議院選挙で安倍改憲阻止・安倍政権退陣をめざし、千葉選挙区で「自公を少数に」「立憲野党で3分の2を」を合言葉に、1月1日からの各政党との政策懇談、政策協定案の提示を進めてきました。

5月8日には、立憲民主党長浜博行参議院議員と浅野史子(よこ)日本共産党千葉県委員会副委員長との両氏それぞれと政策協定・推薦書を取り交わしました。これは全国の複数区で市民連合と立憲野党との間で初めての政策協定と推薦です。

そして、統一地方選挙終了を受けて、5月11日、千葉市民会館小ホールで両予定候補をはじめ各政党や支持者

参院選、市民はどうたたかうのか 市民と野党との共同で新しい選択を

広渡清吾さん(講演要旨)

最初に広渡清吾市民連合呼びかけ人(東京大学名誉教授)が「参院選、市民はどうたたかうのか」市民と野党との共同で新しい選択を」と題して講演(要旨別掲)。

そのあと、各政党代表(市民ネットワーク千葉県、新社会党、緑の党)あいさつがあり、長浜博行・浅野史子両予定候補から決意表明を受けました。佐倉市長選挙で善戦された清田のり子さんからはお礼と決意が述べられ、主催者からの行動提起で集会を終わりました。



「千葉県団結まつり」開く

5月26日、習志野市内で「国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議(以下「県共闘会議」と「団結まつり実行委員会」の主催で、恒例の「千葉県団結まつり」が開かれました。

第1部の「オープニング」は、主催者を代表して宮内渉議長(千葉高教組委員長)があいさつしました。続いて、来賓あいさつ、争議団関係の闘争報告、

千葉朝鮮初級学校の金校長からの特別報告が行われました。次に持ち寄ったお弁当や会場の出店の飲食物を購入するなどして、会食しながらしばし交流を深めました。

第2部の「出し物」は、朝鮮初級学校の生徒さん3人が太鼓を担いでの民族踊りを披露、初めての参加となる天明さおりのさんのマリンパフォーマンス、おなじみとなったバー

ドマンさんによるマジックショーは、新しい出し物やマジックのネタを披露するなどこれまでになく楽しませてくれました。

最後は、恒例の大抽選会、各単産やユニオンからたくさん景品が提供され、なかでも、1家族で夫婦と娘さんの3人が同じ景品が当たるといふハプニングがあるなど、いつもより盛り上がったところで終わりました。

なる③自衛隊が憲法機関として特権化、軍事を政治の正面に押し出すと、その危険性を指摘した。

安倍政治は、未来を拓くための障害物。これに代えて「市民連合の政策理念と重要政

策一としての4項目は①憲法の理念を堅持し、平和国家としての生き方を貫く②個人の尊厳を守る社会の実現と持続可能な経済を通して全ての人間に尊厳ある生活を確保する③原発のない社会と持続

可能な経済を目指す④国の私物化を許さないである。

野党が集まっても、四の五の言っている場合ではない。どうして安倍政権を倒すか、変えるかを、わかりやすく魅力的に提示しなければならぬ。

俳句

四季へのいざない

横丁に箒目の立つ夏の朝 水明



年の頃は80歳代と思われるお爺さんが、小さな背中をより丸め小道を掃いている。時間は朝の7時過ぎ。毎日毎日、雨の日以外はそのお爺さんに「御苦勞様です」と心の中で感謝をしながらの通勤であった。きれいに掃かれた道を会社に通う。よし今日も頑張ろう、と言う気持ちになれるのだ。気分も晴れ晴れとなる「夏の朝」。しかし、そんなお爺さんを今は見かけなくなりました。

コヒケタイム



思いがけない写真展

5月8日から23日まで、館山市内のギャラリーヒロイで「小出一彦写真展・鏡ヶ浦編」を開催しました。

これまで、SNSに夕景写真などを、地元の日新聞に艦船写真を投稿していましたが、ころ、ギャラリーオーナーの廣井鏡子さんから昨年、「ねえ、写真展やろうよ。5月に



写真展会場で(右が小出さん)

スケジュール入れたいからね」って、まさかのうれしいご宣告。「私の写真など売れないし、損しても知らねえよ」って言いましたら、「いいもん、私が見たいの」だそう、これで断ったら国労魂がすたりますので、開催と相成った次第です。

で、結果、「ギャラリー」始まって以来の来場者」と鏡子さんびつくりの360名の方がご記憶され、たいへんにぎやかな写真展となりました。

新社会の読者の方々にも駆けつけて頂き、たいへんありがとうございました。難しい議論も大事ですが、こうした場で多くの人たちと触れ合う機会をもっともっと大事にしたいものですね。

【小出】

「追記」小出さんの写真(帆船)は本紙新年号にも掲載されました。



案内状の写真(カラー)